

# 「フラット35技術基準等の解説(平成18年2月発行)」の正誤表

平成19年8月

本誌及びCD-ROMの一部に下記のとおり誤りがありました。  
心よりお詫び申し上げます。

監修 住宅金融公庫  
(現在 住宅金融支援機構)  
発行 住宅金融普及協会

区分	誤	正								
本誌469頁	シート①-b 「耐力壁及び準耐力壁の種類と採用倍率」の表中 <table border="1"> <tr> <td>準耐力壁等</td> <td>せっこうボード 厚さ12.5mm (片面・全)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>せっこうボード 厚さ12.5mm (両面・全)</td> </tr> </table>	準耐力壁等	せっこうボード 厚さ12.5mm (片面・全)		せっこうボード 厚さ12.5mm (両面・全)	<table border="1"> <tr> <td>準耐力壁等</td> <td>せっこうボード 厚さ12.5mm (両面・全)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>せっこうボード 厚さ12.5mm (片面・全)</td> </tr> </table>	準耐力壁等	せっこうボード 厚さ12.5mm (両面・全)		せっこうボード 厚さ12.5mm (片面・全)
準耐力壁等	せっこうボード 厚さ12.5mm (片面・全)									
	せっこうボード 厚さ12.5mm (両面・全)									
準耐力壁等	せっこうボード 厚さ12.5mm (両面・全)									
	せっこうボード 厚さ12.5mm (片面・全)									
本誌470頁	シート①-c 「耐力壁の確認」の表中 <table border="1"> <tr> <td>W1 +P2b</td> <td>W2 +P2a</td> <td>W3 +P2a</td> </tr> </table>	W1 +P2b	W2 +P2a	W3 +P2a	<table border="1"> <tr> <td>W1 +P1b</td> <td>W2 +P1a</td> <td>W3 +P1a</td> </tr> </table>	W1 +P1b	W2 +P1a	W3 +P1a		
W1 +P2b	W2 +P2a	W3 +P2a								
W1 +P1b	W2 +P1a	W3 +P1a								
本誌471頁	シート①-d 「性能表示の壁量の確認」の表中 <table border="1"> <tr> <td>⑩ Ki 階数=1 K2=1 階数=2の2階 K2=1.3+0.07/Rt 階数=2の1階 K1=0.4+0.06×Rt</td> </tr> </table>	⑩ Ki 階数=1 K2=1 階数=2の2階 K2=1.3+0.07/Rt 階数=2の1階 K1=0.4+0.06×Rt	<table border="1"> <tr> <td>⑩ Ki 階数=1 K2=1 階数=2の2階 K2=1.3+0.07/Rf 階数=2の1階 K1=0.4+0.06×Rf</td> </tr> </table>	⑩ Ki 階数=1 K2=1 階数=2の2階 K2=1.3+0.07/Rf 階数=2の1階 K1=0.4+0.06×Rf						
⑩ Ki 階数=1 K2=1 階数=2の2階 K2=1.3+0.07/Rt 階数=2の1階 K1=0.4+0.06×Rt										
⑩ Ki 階数=1 K2=1 階数=2の2階 K2=1.3+0.07/Rf 階数=2の1階 K1=0.4+0.06×Rf										
CD-ROM	※K1=0.4+0.06/Rt 表中の計算式も同様	※K1=0.4+0.06×Rf 表中の計算式も要修正								
本誌471頁 CD-ROM	シート①-d 「性能表示の壁量の確認」の表中 <table border="1"> <tr> <td>⑭ 単位面積当たりの 必要壁量(cm/m) 階数=1又は 階数=2の2階 =(⑫+⑬)×K2×Z 階数=2の1階 =(⑫×K+1⑬)×Z</td> </tr> </table>	⑭ 単位面積当たりの 必要壁量(cm/m) 階数=1又は 階数=2の2階 =(⑫+⑬)×K2×Z 階数=2の1階 =(⑫×K+1⑬)×Z	<table border="1"> <tr> <td>⑭ 単位面積当たりの 必要壁量(cm/m) 階数=1又は 階数=2の2階 =(⑫+⑬)×K2×Z 階数=2の1階 =(⑫×K1+⑬)×Z</td> </tr> </table>	⑭ 単位面積当たりの 必要壁量(cm/m) 階数=1又は 階数=2の2階 =(⑫+⑬)×K2×Z 階数=2の1階 =(⑫×K1+⑬)×Z						
⑭ 単位面積当たりの 必要壁量(cm/m) 階数=1又は 階数=2の2階 =(⑫+⑬)×K2×Z 階数=2の1階 =(⑫×K+1⑬)×Z										
⑭ 単位面積当たりの 必要壁量(cm/m) 階数=1又は 階数=2の2階 =(⑫+⑬)×K2×Z 階数=2の1階 =(⑫×K1+⑬)×Z										
CD-ROM	※ =(⑫×K+1⑬)×Z 「X軸方向1階」及び「Y軸方向1階」は 表中の計算式も同様	※ =(⑫×K1+⑬)×Z 「X軸方向1階」及び「Y軸方向1階」は 表中の計算式も要修正								
本誌472頁 CD-ROM	シート②-a 「建築基準法の壁量の確認とつりあいのよい壁配置の確認」の表中 <table border="1"> <tr> <td>⑩=⑧×⑨ 耐震必要壁量</td> </tr> </table>	⑩=⑧×⑨ 耐震必要壁量	<table border="1"> <tr> <td>⑩=⑧×⑨ 必要壁量</td> </tr> </table>	⑩=⑧×⑨ 必要壁量						
⑩=⑧×⑨ 耐震必要壁量										
⑩=⑧×⑨ 必要壁量										
CD-ROM	シート②-a 「建築基準法の壁量の確認とつりあいのよい壁配置の確認」の表外 ※算式の「セル」の位置 「U11」・「U12」・「V11」・「V12」	※算式の「セル」の位置 「W11」・「W12」・「X11」・「X12」								
CD-ROM	シート③-a 「床倍率および床ばり・小屋ばりの継手および仕口の確認」の表中 ⑤ α ③による接する壁線が○であれば2.0 1階において該当床面の中間に耐力壁線がない場合は0.5、それ以外は1.0	⑤ α 上下階の耐力壁線の配置等による係数								
本誌488頁	シート③-a 「床倍率および床ばり・小屋ばりの継手および仕口の確認」の表中の吹き出し [吹き出し] 当計算例では表9により直接必要壁量を記入する	[吹き出し] 当計算例では表9により直接必要床倍率を記入する								

※「区分」欄の「本誌×××頁」は、「フラット35技術基準等の解説(平成18年2月発行)」の頁です。

また、「CD-ROM」は、本誌の巻末に添付してあるものです。